

園芸施設共済



高島市

佐々木 幸則さん(61歳)

〔経営規模〕

すいか100_{ルア}ー キャベツ100_{ルア}ー
メロン12_{ルア}ー (ハウス5棟)

もしもの時に備えて

台風被害で全損になったハウスがあり、保険の必要性を感じていた時に、NOSA職員から園芸施設共済を勧められ、加入しました。

冬の期間はビニールを外しているため、雪で被害に遭うことはないと思っていましたが、加入した年に雪害で1棟全損し、共済金が支払われた時、加入していて良かったと実感しました。

物価高騰で資材の価格も上がり、再建する際に掛かる費用が時価評価額での補

償では賄いきれないため、今年度からは復旧費用の補償と付保割合が100%になるように特約を追加し、大きな損害時にはしっかり補償してもらえる内容に、また、小さい損害は自分で補修ができるため、小損害不填補の基準金額を10万円にしました。

農業者個々のニーズに合わせた補償内容が選択できるところに園芸施設共済の魅力を感じています。

もしもの時がないことが一番ですが、日頃からの備えは必要だと思えます。